

花と緑と自然のまちづくり・ニュースレター / No.2

生駒市緑の基本計画推進懇話会は、現在13人のメンバーで活動しています。



発行：生駒市緑の基本計画策定懇話会

発行日：2005.02

事務局：花のまちづくりセンターふろーらむ内

お問い合わせ：TEL.0743-70-0187

Eメール：hanamachi@city.ikoma.lg.jp

『花とみどりの井戸端会議』が発足しました（第1回）

「花と緑と自然のまちづくりフォーラム」（昨年 11 月 20 日）で、懇話会から「花や緑や自然について語り合ってみませんか」と『花とみどりの井戸端会議』の開催を呼びかけ、その第 1 回を昨年 12 月 12 日に花のまちづくりセンターで開催しました（参加者 23 名）。

参加者のみなさんには、「自己紹介ゲーム」として、お名前と、花や緑や自然の関心分野とお住まいが一目でわかる色シールを地図の上に貼っていただきました。みなさんの関心は、どこかに偏ることなく、6 つの分野にうまく分散しているようです。そして、この地図を題材に、「ゆくゆくは市内の至る所に本当の花を咲かせよう」と色とりどりの話題の花が咲きました。

6 つの分野： 山地・丘陵など山並みの緑 河川・ため池など水辺の緑 樹林・農地などの緑 公園の緑
まちなかの民間施設・公共施設の緑 庭先・窓辺・まちかどの緑

お世話係が不慣れなため、ご参加のみなさんには十分にお話していただけないまま終了の時間となってしまいましたが、初顔合わせとしては意義深いものになったと思っています。



第 1 回 井戸端会議

『懇話会提案』のおさらいをしました（第 2 回）

『第 2 回井戸端会議』は、1 月 23 日に開催しました。参加者は 13 名と第 1 回目に比べ少なくなったのが残念です。

最初に、花とみどりのまちづくりについて、これまでにどのような議論がされてきたのかおさらいするため、「緑の基本計画」の基礎になった『花と緑と自然のまちづくりへの懇話会からの提案』について説明させていただきました。

その後、参加者のみなさんから、花やみどりにまつわるさまざまな話題に花が咲きました。また、「花や緑や自然と気軽にかかわれるきっかけを探したい」「今は一人で楽しんでいるが、多くの人々と楽しみを分かち合えたら」「仲間をつくり、一緒に行動し、達成感を味わいたい」など、井戸端会議への期待も語り合いました。

第 3 回に向け、「より多くの人々に参加していただくための工夫が必要」という意見もあり、今後の検討課題となりました。



井戸端会議の様子

守る・創る・育むそして伝える “市民の緑・市民の心”

2005. 01. 23

『花と緑のまちづくりへの市民の思い・期待』

『市民・行政が協働し、こんなことに取り組みよう！』

『すでに、こんな取り組みが・・・』(例)

[1] 山地・丘陵の緑環境に親しみ“自然を守る心”を未来に伝えるために

- ①身近な山並みに棲む動植物の観察に参加してみたい。
- ②山菜摘みや炭焼き体験などをしてみたい。
- ③子どもたちに探検ごっこを体験させたい。
- ④森林ボランティアや清掃ハイキングなどに参加したい。
- ⑤「貸し山林・棚田」で、家族で林業や農業を体験したい。
- ⑥山地や丘陵にまつわる歴史や民話を調べてみたい。
- ⑦生駒山や矢田丘陵のせせらぎを探してみたい。
- ⑧隠れた山道を探して歩いてみたい。

- a. 山林・棚田の市民貸し出しの仕組みづくり
- b. 山林の所有者が、安心して市民に管理を依頼できる仕組みづくり
- c. 市内外の人々に『生駒の森の歩き方・楽しみ方情報』を提供できる仕組みづくり
- d. 野ウサギやリスに出会える美しい山の環境づくり*



地主さんたちの協力でできた「矢田丘陵遊歩道」

[2] 川の水環境を取りもどし生駒に“水と緑の骨格”を創り・育むために

- ①川沿いで散歩、ジョギングやサイクリングをしてみたい。
- ②近くの小川やため池の古くからの呼び名を知りたい。
- ③川堤や水辺の住宅地が緑や紅葉の木々に彩られたら。
- ④夏には虫を鑑賞したい。冬には渡り鳥も来てほしい。
- ⑤ゴミが無く、水のきれいな川やため池になってほしい。

- a. 水辺の環境を再点検する「市民ネットワーク」づくり
- b. 花と緑の水辺環境づくりに取り組める仕組みづくり
- c. 水辺にまつわる種々のイベントの開催



川沿いの住民による“おしさいづみ”づくり

[3] 樹林・農地を生かして“まちなかの緑の厚み”を育み・伝えるために

- ①近くの樹林で、下草刈りや炭焼き体験などをしてみたい。
- ②樹林や農地の管理を安心して任せられる団体やグループがあればお願いしたい。
- ③歩いていける場所に「市民農園」がほしい。
- ④休耕田をコスモスやレンゲでいっぱいにしてみたい。
- ⑤「杜さん」などにまつわる歴史や伝承を知りたい。
- ⑥近くの樹林を公園のように気軽に利用したい。

- a. 地主さんも安心できる「〇〇さんの森」制度づくり
—— 制度の仕組み検討、「〇〇さん森」の候補地さがし
- b. 「杜さん」に詳しい人さがし、市内の巨木・名木さがし



住宅管理組合が手入れする共有林

[4] 市民の英知で“楽しく・使いやすい公園”を育むために

- ①公園に自分たちの花壇や、自分たちで植えた木があれば、があれば、みんなで手入れもするようになる。
- ②「ふろーらむ」のような公園が近くにあれば、楽しいし、掃除や手入れもする気になる。
- ③近くの樹林が公園だったら、カブトムシにも出会えるし、高齢者や身障者も気軽に自然に親しめる。

- a. 公園の新設や改修に市民の思いを反映できる仕組みづくり —— 公園づくり市民ワークショップ制度など
- b. 市民の思いで出来た公園を地元の創意で手入れができる仕組みづくり —— 公園里親制度(市民アダプト制度)
- c. 身近な樹林を公園的に利用できる仕組みづくり —— 「〇〇さんの森制度」、「樹林公園指定制度」など



地区住民の工夫による花の公園づくり

[5] 民間施設と公共施設の緑化でまちなかに“花と緑のシンボル”を創るために

- ①商店街やデパート、スーパーのまわりが花や緑でいっぱいになれば、もっと訪れたい楽しいまちになる。
- ②駅やバス停などひとの集まる場が花や緑でいっぱいになれば、通勤や通学がもっと楽しくなる。
- ③水やりが楽になる工夫をすれば、まちかどや公園での花づくりがもっと活発になる。
- ④通りにより異なった街路樹にすれば、まちがもっと個性になる。

- a. 商店街、デパート、沿道商業地や役所などに積極的に緑化や花がざりに取り組んでもらうための仕組みづくり
- b. いつでも水やりができるまちかどづくりの工夫
- c. 沿道の市民や企業が、街路樹の世話や道路の美化に気軽に取り組める仕組みづくり



駅前公共空間の花がざり

[6] “花とみどりであふれる庭先・窓辺・まちかど”を創り・育む

- ①まちのみんなが誇りに思えるような“花と緑と自然のまちづくり”に取り組んでみたい。
- ②“花と緑と自然のまちづくり”の情報交換ができれば、活動の輪がもっと広がる。
- ③オープンガーデンができるような度をつくって、互いに見て回れるようにしたい。
- ④得意な分野で、花と緑と自然のまちづくりに参加してみたい。
- ⑤花がざりや庭木の手入れなどの講習会を身近な場所で開いてほしい。
- ⑥もっと気軽に訪れることができる「ふろーらむ」にしてほしい。

- a. 市民みんなが“花好き市民”になれる情報交換の場となる『市民サロン』づくり
- b. “花と緑と自然のまちづくり応援団”づくり
- c. “花好き市民”が支え、“花好き市民”を育てる「ふろーらむ」づくり



庭先・窓辺・まちかどの花がざり

骨格となる緑の環境に親しみ・守る
まちなかの緑に奥行きと厚みを創る
街かど・庭先・窓辺を花と緑でいっぱいにする